

住民発！ 今町校区小地域福祉活動第一次計画

もっと



今町が



もっと好きになるプラン

2023年～2027年



 ふれあいネットワーク

今町校区社会福祉協議会

住民発！ 今町校区 小地域福祉活動第一次計画

今町がもっともっと好きになるプラン

も く じ

ごあいさつ	1
第1章 計画策定にあたって	2
1 計画の性格	
2 計画の期間	
3 計画の策定経過	
第2章 今町校区の現状と課題	3
1 地域社会の動向	
2 地域の福祉課題	
第3章 計画体系.....	5
1 基本理念	
2 基本目標	
3 実施項目（体系図）	
4 重点実施項目	
第4章 計画の推進	9
1 計画の承認と周知	
2 計画を推進するための体制	
3 第二次計画の策定	
参考資料.....	10
1 策定委員会名簿	
2 策定委員会での協議事項	

「今町が もっともっと好きになるプラン」

ごあいさつ

今町校区は小倉北区の中でも一番南に位置し、市の中心に近い住宅街として発展してきました。昭和40年代はまだ農村が色濃く残っていましたが、昭和50年頃より多くの集合住宅が建ち始め、急速に新興住宅地となりました。校区の東側には紫川が流れ、豊かな自然に恵まれています。

今町校区社会福祉協議会は、昭和54年4月の今町小学校の開校と同時に発足し、今年で44年目を迎えます。協議会の活動として、「ふれあいネットワーク事業」に力を入れ、サロン活動や見守り活動、高齢者の買い物支援等に取り組んできました。

近年は他地域よりも少子化や高齢化、住民の減少、役員の高齢化、一人暮らし世帯の増加が進んでいる状況です。そのような中で、ふれあいネットワーク事業を担う福祉活動者の年齢も高く、誰もが住みよく安心して生活することのできるまちを維持するためには、後継者を育成することが急務であると考えています。

そこで、「みんなが安心して暮らせる支えあいのまちづくり」を次世代に繋げていくために、今町校区小地域福祉活動第一次計画を策定いたしました。子どもたちが「今町で育ってよかった」、若者が「今町で育ててよかった」、誰もが「今町で暮らしてよかった」と実感することのできるまちづくりを、関係機関や地域の皆様と協力しながら進めていきたいと思っております。5年後には計画を見直していくことによって継続的に課題解決に取り組んでまいります。

計画の策定にあたり、ご尽力いただきました策定委員の皆様、ご協力をいただいた関係機関の皆様に感謝を申し上げます。

地域住民の皆様とともに「今町をもっと好きになる」を実現していきたいと思っております。ご協力をよろしくお願いいたします。



令和5年3月

今町校区社会福祉協議会
会長 福丸 清生

第1章 計画策定にあたって

1 計画の性格

(1) 住民発信の行動計画

この計画は、今町校区の様々な福祉課題を解決するために、住民や民間団体が将来の見通しを持って計画的に活動しようとするための民間の行動計画です。

(2) 小地域の生活を支える計画

この計画は、今町校区に住む人たちの「生活」を支えることを活動の原点とする計画です。

(3) 北九州市及び北九州市社会福祉協議会・小倉北区社会福祉協議会と協働する計画

この計画は、北九州市及び北九州市社会福祉協議会・小倉北区社会福祉協議会の計画と連携しながら地域福祉活動を進めていく計画です。

(4) 今町校区社会福祉協議会の活動指針となる計画

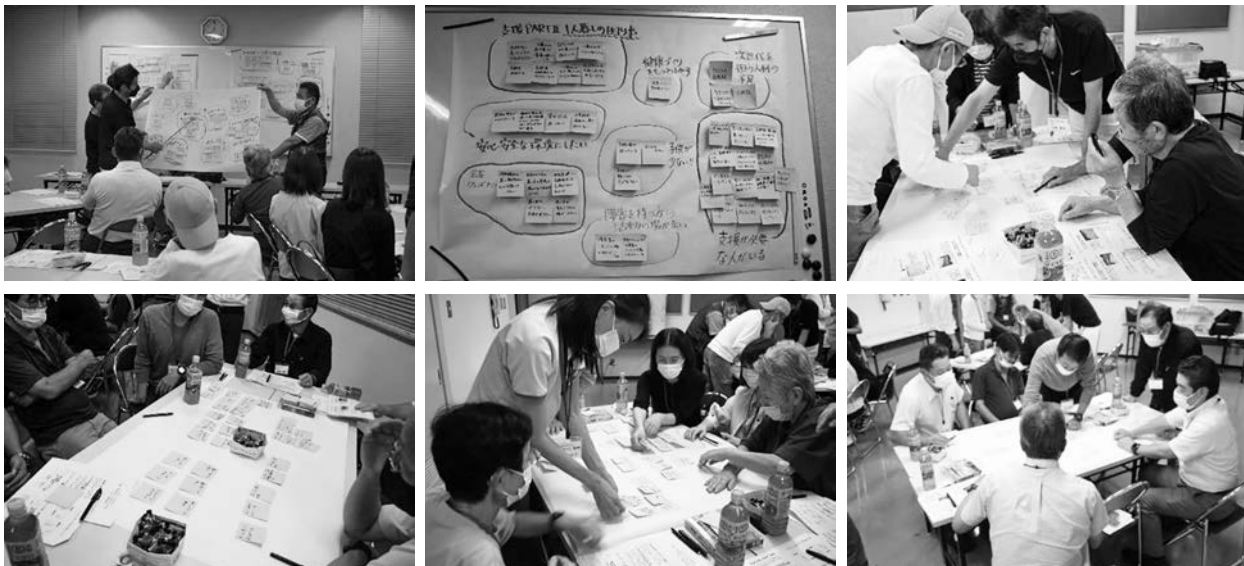
この計画は、社会福祉協議会が地域福祉推進の中核的な団体としての方針や発展強化の道筋を明らかにする性格を有します。

2 計画の期間

2023年度～2027年度までの5ヵ年とします。計画の期間中、地域を取り巻く状況に大きな変化があれば、見直しを行います。

3 計画の策定経過

今町校区では、地域福祉活動に取り組んでいる活動者や関係団体等からの意見を踏まえ、校区の地域福祉活動に関する計画を策定するため、令和4年9月27日に今町校区小地域福祉活動計画策定委員会を設置しました。25名の委員による、5回にわたる協議の上、今町校区小地域福祉活動計画を策定しました。（参考資料を参照）



第2章 今町校区の現状と課題

1 地域社会の動向

今町校区データ

令和4年9月現在

人口	6,360人	小学校	今町小学校
世帯数	3,754世帯	中学校	城南中学校
高齢化率	41.8%	公民館・市民センター	今町市民センター
一人暮らし高齢者数	834人	地域包括支援センター	小倉北4
その他社会資源等	社会福祉法人南風会ヘルシーハイム、 医療法人清陵会南ヶ丘病院、ますち内科クリニック、 岸本内科クリニック、和田整形外科内科クリニック ドラッグストアモリ、セブンイレブン、ファミリーマート、 ローソン 今町保育所、南丘保育所、日本文化学院、小倉今町郵便局 紫川団地合同集会所、市立今町集会所、今町公民館 市立年長者いこいの家集会所、南丘団地集会所 今町河畔公園、南丘一丁目北公園、南丘コミュニティ公園		

今町校区は、小倉南区に接して紫川中流の西岸に南北に長く広がり、野鳥や野草が自生する自然に恵まれた環境にあります。「子どもは地域の宝」という意識を共有し、紫川をシンボルとして、「今町で育ててよかった 今町で育ててよかった」を合言葉に子どもを中心とした活力あふれるまちづくりを目指しています。



2 地域の福祉課題（及び小地域福祉活動の課題）

今町校区は高齢化率が高く、閉じこもりがちな人や日常的な困りごとを抱える人が、増加しています。

そこで今町校区社協では、ふれあいネットワーク活動による地域の見守りや声かけ、助け合い活動を推進し、福祉協力員や民生委員・児童委員、自治会関係者や老人クラブ等との連携により、高齢者や障害者等の支援をはじめ、子どもの健全育成や地域の活性化を目的としたさまざまな事業に取り組んできました。

しかし、若い世代など地域との関わりを持ちたがらない住民の増加や、活動者自身が高齢化しているなか、ますます複雑化・多様化する地域福祉ニーズへの対応が困難になってきています。



【参 考】 策定委員会で出された今町校区の現状や課題

今町校区のよいところ

- ・自然が豊か
- ・自然災害が少ない
- ・人情味がある
- ・年長者がいきいきしている
- ・困っている人をほっとかない
- ・地域活動（行事）が盛ん
- ・桜並木が素晴らしい
- ・町全体で子どもを見守っている
- ・子どもたちの元気が良い
- ・助け合いの精神がある
- ・声をかけ合っている

など

今町校区の課題

①生活上の困りごと

困った人がSOSを出せない、遠慮しがち
困りごとを把握するのが難しい
高齢者の困りごとの相談先がわからない
近くにスーパーがない
紫川が氾濫した時の避難場所は？
夜になると出歩いている高齢者がいる

②人間関係の希薄化

閉じこもる高齢者が多い
近所づきあいが苦手な人がいる
近所づきあいが少ない
子育て世代が少ない
障害を持つ子の保護者のサークル活動があつたらいいな
子どもから高齢者まで参加できる交流がもっとあつたらいいのに

③活動の担い手不足

役員のなり手がなく、一人で何役もしないといけない
若い世代に活動して欲しい



第3章 計画体系

1 基本理念

「今がいい！これからもいいまちづくり 今町」

子どもから高齢者まで、障害のあるなしに関わらず、誰もが住み慣れたところでこれからも安心して生活できるまちにしたいと願い、「今がいい これからもいいまちづくり 今町」という言葉を計画の基本理念として、計画を推進していきます。

2 基本目標

◆ 基本目標1

みんなで地域の暮らしを支え合おう

「困ったときはお互い様」「できる人ができることを少しずつ」のお互いに協力し合える支え合いの地域風土を醸成し、助け上手・助けられ上手な人があふれるふれあいのまちにしていきます。

◆ 基本目標2

福祉を学び合い、助け合いの意識を高めよう

地域住民の「福祉への理解、関心」を高めるために、さまざまな学びの機会をつくとともに、SNS等も活用した情報発信を行うことで、新たな地域活動の担い手を確保し、地域の福祉力を高めます。

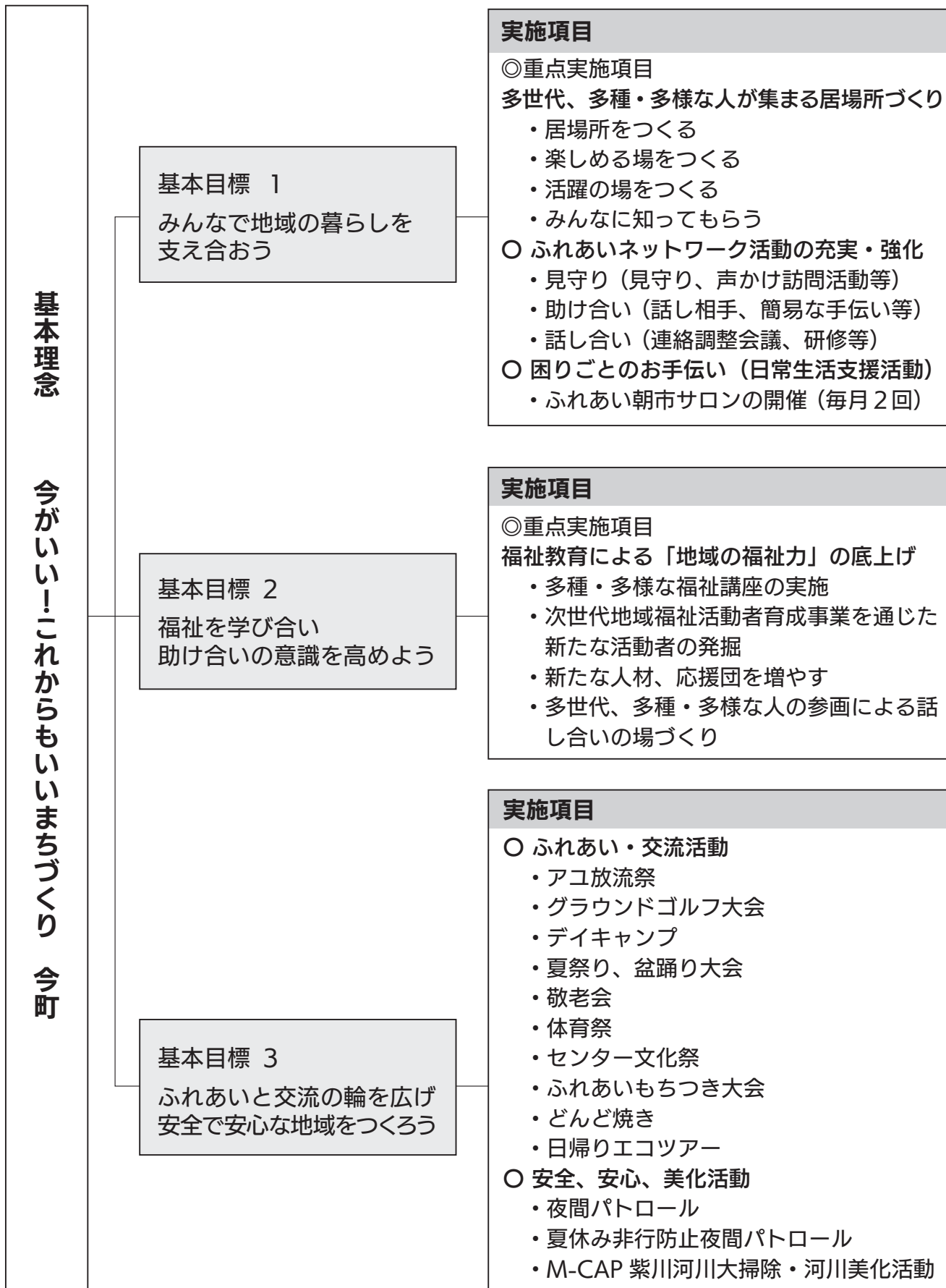
◆ 基本目標3

ふれあいと交流の輪を広げ、安全で安心な地域をつくろう

子どもから高齢者まで、地域に住み・働き・学ぶ生活の営みの中で、支える側・支えられる側の垣根を越え、ふれあいと交流を通して、気軽に、楽しく参画できるしくみづくりを進めます。



3 実施項目（体系図）



4 重点実施項目

重点実施項目		多世代、多種・多様な人が集まる居場所づくり						
1 課題背景及び現状								
今町校区は高齢化率が高く、健康に不安を抱えたり、閉じこもりがちな高齢者や支援を必要とする独居高齢者が増加しています。								
2 活動の方針・目標								
「困ったときはお互い様」「できる人ができることを少しずつ」のお互いに協力し合える、支え合いの地域風土を継続し、助け上手・助けられ上手な人があふれる「ふれあいのまち」にするために、高齢者だけでなく、多世代、多種・多様な人の生きがいになるような居場所をつくっていきます。								
3 段階的な取り組みの年次計画								
取り組み内容	連携する機関	2023	2024	2025	2026	2027	備考	
居場所をつくる ～身近な場所での居場所や活動の拠点づくりと既存の交流活動等の再編～	まち協 自治会 福祉施設 保育所 市民センター	➔						<ul style="list-style-type: none"> 既存サロンの見直しと再開、地域資源等を活用した多種・多様な人が集まる居場所の開設 見守り訪問を利用した訪問型サロンの取組 多世代、多種・多様な人が集まるカフェの新設
楽しめる場をつくる ～様々な行事や学びの場、趣味・クラブ活動等との協働と伴走型ボランティアの推奨～	まち協 自治会 企業 老人クラブ 婦人会 市民センター	➔						<ul style="list-style-type: none"> 地域行事や趣味の会、クラブ活動や市民センター講座等と協働した「ふれあいと生きがいの場」づくり 声かけ、誘い合い同行等の働きかけによる参加の勧奨
活躍の場をつくる ～多世代のふれあいと交流の中で、やりがいや生きがいを持てる機会の提供～	まち協 自治会 老人クラブ 婦人会 福祉施設 学校 保育所 市民センター	➔						<ul style="list-style-type: none"> 地域活動やボランティア活動への参加の勧奨 若い世代も参加しやすい環境づくり
みんなに知ってもらおう ～様々な媒体を活用し、様々な人たちに福祉活動情報を発信し、参画の輪を広げる～	まち協 自治会 学校・PTA 保育所 福祉施設 市民センター	➔						<ul style="list-style-type: none"> 市民センター館報、チラシ等の効果的な活用 理解者・協力者の拡充、新規活動者の募集 多世代参画による広報紙、SNS、動画、HPなどの効果的活用 今町校区を象徴する写真コンテストの開催

重点実施項目		福祉教育による「地域の福祉力」の底上げ					
1 課題背景及び現状							
高齢化や人口減少により、ボランティアや地域福祉活動者が不足しています。地域共生社会の実現に向けて、地域の困りごとに気付き、ともに支え合う地域福祉を目指す人づくりが必要です。							
2 活動の方針・目標							
地域住民の「福祉への関心」を高めるために、多様な学びの機会をつくとともに、SNS等も活用した情報発信を行うことで、新たな地域活動の担い手を確保し、地域の福祉力を高めます。							
3 段階的な取り組みの年次計画							
取り組み内容	連携する機関	2023	2024	2025	2026	2027	備考
多種・多様な福祉講座の実施	まち協 自治会 学校 保育所 福祉施設 市民センター	→					<ul style="list-style-type: none"> 福祉協力員研修の実施 誰でも参加できる福祉講座の開催
次世代地域福祉活動者育成事業を通じた、新たな活動者の発掘	まち協 自治会 学校・PTA 福祉施設 市民センター	→					<ul style="list-style-type: none"> 多世代、多種・多様な人々が参加できるイベントを企画。参加者からボランティアを募集
新たな人材、応援団を増やす	まち協 自治会 学校・PTA 福祉施設 企業 市民センター	→					<ul style="list-style-type: none"> 発掘された人材を登録した人材バンクを立ち上げ、活用 校区内で学んでいる人、働いている人等様々な人を含めた今町応援団の開拓
多世代、多種・多様な人の参画による、話し合いの場づくり	まち協 自治会 学校・PTA 福祉施設 企業 市民センター	→					<ul style="list-style-type: none"> 連絡調整会議の充実 計画推進委員会の立ち上げ



第4章 計画の推進

1 計画の承認と周知

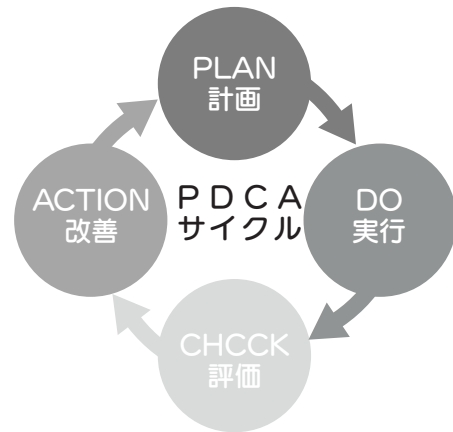
- (1) 今町校区社会福祉協議会の総会等を通じた社協活動者への計画の承認と周知
- (2) 計画の実施項目を進めていく上での関係機関・団体への周知・協力依頼
- (3) 計画書概要版の配布や広報紙、ホームページへの掲載等を通じた住民への周知など、計画を推進していくために、この計画の広報活動を行います。

2 計画を推進するための体制

(1) 小地域福祉活動計画推進委員会の設置

計画を推進していくために、今町校区小地域福祉活動計画推進委員会（以下、「推進委員会」という。）を設置し、計画の進行管理を行います。

- ① 関係機関・団体との連携
- ② 計画内容の具体的な実施方法
- ③ 進行管理の実施



(2) 計画の進行管理（モニタリング）

推進委員会を年1～3回程度開催し、次の点について確認します。

- ① 当年度の事業推進の確認
- ② 年度内における中間確認
- ③ 次年度の事業確認

また推進委員会では、PLAN（計画立案）DO（実行）CHECK（点検・評価）ACT（改善）というPDCAのサイクルを回しながら、計画内の各実施項目の進捗状況を把握し、計画通り進行していない場合には、その原因を明らかにし、問題への対策を立て、その対応策を実施します。

(3) 計画の評価

計画中間時点では計画全体の中間見直しを、最終年度には総括評価を行います。

3 第二次計画の策定

第一次計画の推進状況を踏まえて、第二次計画の策定期限（第一次計画の最終年度：2027年度）には新たに第二次計画策定委員会を設置し、次期計画策定に向けての協議を進めていきます。



参考資料 [今町校区小地域福祉活動計画策定経過]

1 今町校区小地域福祉活動計画策定委員会・推進委員会 委員名簿

	策定委員	所属団体	役職など	推進委員
1	福丸 清生	今町校区社会福祉協議会	会 長	○
2	大司 洋太	今町校区社会福祉協議会	副会長	○
3	渡邊 正信	今町校区社会福祉協議会	副会長	○
4	小野 善孝	今町校区社会福祉協議会	副会長	○
5	竹 澤 稔	今町校区社会福祉協議会	会計監査	○
6	藤原 香代子	今町校区社会福祉協議会	会計監査	○
7	間庭 修二	福祉協力員		
8	渡邊 尚美	福祉協力員		
9	上田 久子	福祉協力員		
10	西村 博文	福祉協力員		
11	谷崎 博文	今町校区老人会	会 長	
12	岸本 知津子	今町校区婦人会	副会長	
13	原 信 善	健康づくり推進員		
14	古川 秀俊	今町郵便局	局 長	○
15	五味 伸治	ヘルシーハイム	施設長	○
16	山口 公子	ヘルシーハイム	居宅介護支援サービス管理者	
17	永松 加寿子	ヘルシーハイム	デイサービス管理者	
18	山村 太士	ヘルシーハイム	ショートステイ管理者	
19	園岡 優子	南ヶ丘病院	管理栄養士	
20	石川 隆之	今町小学校	校 長	○
21	上野 隆司	今町小学校	教 頭	
22	坂本 宣晶	城南中学校	校 長	○
23	竹中 陽子	今町保育所	所 長	○
24	中野 雅子	南丘保育所	所 長	○
25	松本 喜義	今町市民センター	館 長	○

※今町校区社会福祉協議会会長を計画策定委員会及び推進委員会の委員長とする。

2 今町校区小地域福祉活動計画策定委員会での作業・協議事項

回	開催日	主な内容・協議事項など
1	令和4年9月27日	1 計画策定の趣旨について 2 福祉課題の抽出と整理
2	令和4年10月25日	1 基本目標の選定 2 取り組みを体系図に整理
3	令和4年11月22日	1 重点実施項目の選定と具体的な取り組み
4	令和5年2月21日	1 計画書全体（案） 2 計画の推進について
5	令和5年3月28日	1 計画書全体・概要版（最終案）の内容確認 2 広報について

ボランティア募集中

今町校区では
地域の活動に参加していただける方を
募集しています！



日曜大工や庭木の剪定、包丁とぎや家事、将棋の相手…等々 “ちょっとした” 特技を活かしてみたい方。

「仕事があるけど、土曜や日曜だけなら手伝えるよ！」という方。

「パソコンやSNSが使える」という方。

「特技はないけど、見守りや声かけ、ゴミ出しくらいなら手伝えるよ！」という方。

そのほか、空いた時間に“ちょこっと”お手伝いいただける方大歓迎！
あなたの『できる』を『ありがとう』にかえてみませんか？

興味のある方は、お問い合わせください！

小地域福祉活動とは？

わたしたちのまちにはいろいろな人たちが住んでいます。

高齢者や障害を持っている人、子どもたちなど、地域のみんなが元気に安心して生活していくためには、本人や家族の努力、また、公的なサービスだけではむずかしいことがあります。

そこで、地域のボランティア活動や助け合い活動などを調整したり、新たに生み出したり、支え合いの仕組みをつくったりすることが必要になり、これを小地域福祉活動といいます。

小地域福祉活動は、自治会や小地域を基盤に行われる住民が参加する福祉活動で、北九州市では小学校区を基本単位としています。地域のいろいろな組織や住民一人一人が地域の問題解決のため、みんなで力を合わせて進めていきます。校（地）区社会福祉協議会は、小地域福祉活動の要として、地域で生活している幅広い人たちが構成されています。「自分たちの地域の福祉課題は、自分たちが解決していく！」という熱意を持ち、市・区社会福祉協議会と連携しながら、住民主体の福祉のまちづくりを推進しています。

★社会福祉協議会のイメージキャラクター★



『プチボザウルス』 (Petit vo saurus)

Petit (プチ：ちっちゃな)
Volunteer (ボランティア)
Saurus (サウルス＝恐竜)

今町校区社会福祉協議会

〒803-0862 北九州市小倉北区今町三丁目 19 番 2 号 今町市民センター内
TEL：093-571-9898 FAX：093-582-9498
ホームページ <http://www.kitaa-shakyo.or.jp/kokurakita/imamachi/>

小倉北区社会福祉協議会

〒803-8510 北九州市小倉北区大手町 1 番 1 号 小倉北区役所内
TEL：093-571-5452 FAX：093-571-9553
ホームページ <http://www.kitaa-shakyo.or.jp/kokurakita/>

北九州市社会福祉協議会

〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町 1 番 6 号 ウェルとばた内
(代 表) TEL：093-882-4401 FAX：093-882-3579
(地域福祉部) TEL：093-882-4425 FAX：093-873-1351
ホームページ <http://www.kitaa-shakyo.or.jp/>